

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

超我の奉仕 Service Above Self

RI 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー



2005～2006

奉仕の理想を求めて

富津中央 RC 会長 白石 幸久

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12

RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.1955 第26回例会 2006. 1. 19 薄曇り

点 鐘 : 白石幸久 会長

進 行 : 大網庄一郎 SAA

ソング : 手に手つないで

型品等を主力とする企業である。吉野地区及び富津市の活性化につながればよいが。

会長挨拶

白石幸久 会長

皆様こんにちは、お元気のことと思います。

(1) 改正高齢者雇用安定法の施行で企業社会の様相は大きく変化しつつある。60才の定年後も働くシニア世代の労働者がぐんと増加し、若い上司に年配の部下という配置も珍しくなくなる。シニア世代がこうした雇用延長時代を生き抜くにはどんな心構えが必要か。

- ◇ 一介の社員に戻ることを覚悟できる人
- ◇ 自分より若い上司の参謀役になれる人
- ◇ 誰とでもコミュニケーションできる人
- ◇ 行動のスピード感を失わない人
- ◇ スパイスのきいた助言が出来る人
- ◇ さりげなく先生役が出来る人
- ◇ 顧客志向を貫ける人 (参考:日本経済新聞)

新日鐵等では定年時の仕事の継続を条件に、段階的に65才まで再雇用する制度をスタートさせるが賃金の水準は16万～22万円。平均は18万程度で定年時の6割弱となる。

(2) 身近なニュース

富津市八田沼旧出光興産跡地に三甲(株)が進出。各種コンテナ類などプラスチック物流機器の成

会長報告

白石幸久 会長

- (1) 1月26日(木)ガバナー公式訪問
会員の皆様よろしくお願ひします。各委員長さんには当日のプログラムを配布しましたが、特に宜しくお願ひします。
- (2) 理事会報告
ロータリー米山記念奨学会多地区合同奉仕活動に関する件が1月12日(木)の理事会で承認されました。
- (3) 塩山 RC 訪問について
三度目の変更ですが、訪問日が、2月19日(日)になりました。
- (4) IM
2月17日(金)ベイプラザホテル

幹事報告

石渡 鋼 幹事

- ◇ 次週はガバナー公式訪問です。記念撮影を行います。全員の参加をお願いします。
- ◇ 週報受領
富津シティRC、木更津東RC
- ◇ 塩山RC訪問
2月19日(日)になりました。

〒293-0042 富津市小久保2868

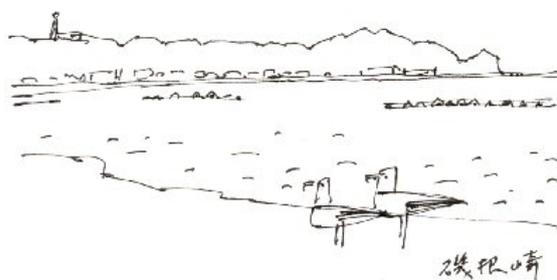
さざ波館

Sazanami-kan

2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,

Zip code 293-0042

Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304



◇ IMの出欠について

2月17日(金)ベイプラザホテルです。

回覧を回しますので出欠の記入をしてください。

ロータリー理解推進月間卓話

渡辺 務 ロータリー情報委員長



「超私の奉仕」について

本日は、情報委員長の卓話ということで、「そういえば私が情報委員長だったな」と改めて認識をしたのが先週の例会時でした。千葉プログラム委員長に仰せつかりましたので、何とか形にしないといけなかったと考えましたが、そうなると一週間というのがなんと早いものか、私の人生の中でも1, 2を争う体感スピードで一週間が過ぎてしまいました。

諸先輩の経験、知識の前で私がポールハリスやロータリーの精神を云々するのは、まったくおこがましいことであり、言語道断とも言うべきことでもあります。

そこで何か他の話題でお茶を濁すことも考えましたが、いざそれを考えても、そのお茶を濁すすべも自分は持っていないと自覚いたしました。もうこうなったら破れかぶれ、いっそのこと真っ向からロータリーの理念に向かいあって、直球勝負で皆さんからの反撃を受けて、いさぎよく玉砕しようと心に決めたのが、昨晚のことです。せっかく情報委員長をやらせてもらってるんだから、この際少しはそれらしいことを勉強しようと考えましたが、まさに一夜漬けの話をこれから聞かなければいけない皆さんに大変申し訳なく思いながら、進めてゆきたいと考えています。

去る1月15日地区の財団委員長会議が、幕張プリンスで開催されました、山中ガバナー、中村地区財団委員長のそれぞれの話の中で、「I serve」と「We serve」についての言及がありました。両者ともロータリーの精神の根底にあるのは「I serve」であるということでした。ふと榎本会員宅で行った昨年の情報委員会活動を思い出しました。その内容ははっきりとは覚えていませんが、志波会員のお話で決議23-34に関連するお話であったと思います。そして記憶を頼りに昨年10月にあった情報研究会の資料を調べてみたら、パストガバナー 渡辺 隆さんがその基調講演の中で興味深いことをおっしゃっていたのと重なりました。今日はそのお話を、私なりの理解でさせていただきたいと思います。

途中、野次、罵声はぜひ控えていただければと存じます。

渡辺パストガバナーは、その公演の中で、自分のロータリー入会以来の経験をお話になり、さまざまな奉仕活動を通じて他の会員と懇意になったと同時に、弁護士という自分の職業上でも、クラブ内のほとんどの会員と直接かかわりことができたと述べています。ポールハリスの1業種1人というロータリーの着想はこの辺にあったのではないのでしょうか。

各人が職業を通じてサービスしあい、奉仕しあうという関係が、重要なロータリーの要素であったのだと氏はおっしゃっています。その基本を土台とした上で、さらに視野を広めて社会全体に、あるいは国際社会を対象として奉仕を広げてゆくのが必要なのでしょう。1905年シカゴでポールハリスをはじめとする4人でロータリークラブは始まったとされているのは、皆さんご承知のとおりであります。それ以前のポールハリスはというと、アイオワ大学を卒業した後、アメリカを放浪したり、イギリスでさまざまな経験を積んで、シカゴで弁護士事務所を開業しました。しかしこれも有名な言葉ですが、開業当初はなかなか商売がうまく行かず、「弁護士を開業することとは予想以上に難しいことであった。弁護士事務所の看板を出すことは簡単なことである、それで多くの人をひきつけようなどとは思ってなかったが、それがこんなに完全に無視されるとは思っていませんでした。覚えている限りでは、私の商売は開店休業であった。」という状態だったそうです。

当時の荒廃したシカゴの街で孤軍奮闘し、孤独の中から「1業種1人」という発想が生まれてきたのであろうと思います。各人の職業を通じてお互いに助け合える、あるいは助け合おうという考え、いわば相互扶助の精神が原点であったのだと思います。そこから、少しずつ枠を広げて社会や世界に目を向けるように発展して今日があるということでしょう。単に閉鎖的な相互扶助にとどまらずに普遍的な職業倫理の確立の重要性が強調されるようになって行くのだと思います。

ここで最初の「I serve」「We serve」の話に戻りますが、渡辺パストガバナーは、ロータリーとライオンズクラブの違いについて言及されています。

ライオンズクラブを創立したのは1917年メルビン ジョーンズという人だそうですが、ロータリーの個人的な奉仕に飽き足らずに、新たに別にライオンズを作ったわけですが、それは単なる個人的な奉仕ではなく、団体として奉仕活動を実践するべきというのがその主張です。したがってライオンズでは「We serve」ということがそのモットーとなっているそうです。ここがロータリーと異なるところで、本来われわれロータリーは“職業奉仕を目標とする個人からなる団体であって、個人の奉仕を主眼として、そこに重きを置く団体”であり、単なる慈善団体ではない。ロータリーの目標は、個人として自己の職業を通じて倫理を実現することにより、広く人のため、社会のためにいささかなりとも貢献しようとするものであるとおっしゃっています。

しかしこのメルビン ジョーンズの投じた一石は、当時のロータリーに大いなる反省を促しました。それがやがて、1923年の決議34として白熱した議論の結果決定されることとなったのです。その決議23-34の中にこういう文句があります。

「奉仕するものは行動しなければならない。したがってロータリーとは単なる心構えのことではなく、又 ロータリーの哲学も単に主観的なものであってはならず、それを客観的なものとして表さなければならない。そしてそれは、ロータリアン個人も奉仕の理論を実践に移さなければならない。」ということです。

又、もうひとつ重要な宣言それは、利己と利他の調和を尊重すべきことを説いた次のような宣言。

「ロータリーとは基本的には一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と、義務及びこれに伴う他人のためにしたいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものである。」そしてその意思を優先させる生き方が、いかに大切かということでもあります。つまりわれわれが奉仕の理想としてかかげる「超我の奉仕」の根幹にあるのは、他に対する思いやり、他人の立場を配慮する心の優しさであります。言い換えれば、自己に対する厳しさによる内省を伴う他に対する心配りということです。そして他人との共生を図ることは、さらに広く他国との共存共栄をめざすことにもつながって、やがてグローバルな大道へとつながって行くはずだと、渡辺パストガバナーは結んでいます。

ここまできてやっと去年の榎本邸における志波会員のお話と、つながったと思います。

時代は変化しても、我々ロータリーの根底にある普遍のもの、それは自らの職業を通じて奉仕すること、人のためによかれと尽くすこと、その奉仕の理想に向かって利己と利他の狭間で反省し実践してゆく、ロータリアン一人一人が実際に自分の生活の中でこの「奉仕の理想」ということをどう位置付け、どう心構えで行動して行くかが今もなお、私たちに求められていると思います。

以上、まったくの渡辺パストガバナーの受け売りのようになってしまいましたが、私なりに共感し理解できる範囲でお話をさせていただきました。大変失礼いたしました。

年頭所感

千葉一利



年頭に一言。お正月の歌”年の初めのためしとて……“の”ためし“とは、習わし、習慣と言う意味を持っています。その習慣(ためし)にかかわって話をしたいと思えます。

今度、地球温暖化防止対策の京都議定書に反対だった大国アメリカ・カナダがその議定書に加わるようです。我が儘なアメリカが入る。それだけこの議定書が重要だと言うことでしょう。ここ100年で地球の平均気温は0.6℃上がり、特に北極はその4倍の2.5℃も高くなったそうです。融けないと言われていた氷が融け、その分だけ陸地が水没する。あわせて異常気象・酸性雨・オゾン層破壊など、事は深刻です。

この問題を解消するには、工場関係は勿論のこと、地球人一人一人が意識的にその元凶である二酸化炭素の排出を少しでも減らす努力をすることでしょう。

私も及ばずながら、夜更かしの習慣(ためし)を改め「早寝・おそ起き」に徹し、地球温暖化防止にささやかでも協力したいと思っています。

昼夜に関係なくギャンブルに支配されている生活から、健康的で世界観に立った生活に、と考えていますが果たしてどうか。

飯倉清種

皆様、遅れ馳せながら新年の御挨拶を申し上げます。本年も宜敷く御願ひ致します。

私は平成元年に当クラブに入会させて頂きまして十七年が経過しました。昨年十一月には七十才の誕生日を迎え古稀の祝を同



業者の友達と子供達にして頂き、新年を迎える事が出来ました。

私事で御座いますが、四年前に前立腺癌に罹患致しまして現在療養中です。私の場合手術が出来ない状態(骨転移がある為)なので、ホルモン療法と言いまして女性ホルモンを注射し男性ホルモンを無くして癌細胞の増殖を抑える療法を行っており、又抗癌剤を併用し飲んでおります。しかしこの薬は副作用が強く体調の勝れない日が多く、つい例会の欠席が多くなり困っております。今年は何とか延命に励み、成るべく例会に出席したいと思っております。

最後に皆様の御健康を祈念申し上げます。

三井 進

年末から出席率が悪く迷惑をお掛けしています。



本年は不出来な会員とならないよう頑張りますので、宜しくお願いします。

私の勤務しているマザー牧場には、年間で70万人を超えるお客様にきていただいています。

お客様に楽しい気分でお帰りいただけるよう、従業員のモットーを「スマイル アンド クリーン」にしました。公私両面で実行することができたら、と考えています。

公德心のある社会に、美しい環境・自然に出会えるように、子供達に暖かく、伸びやかな心を持ってもらうために。

永島 強

今日は、本年が皆様にとって素晴らしい年でありますようお祈り申し上げます。我家では先週土曜日、倅が結婚しました。同居する事となり、新年早々家族皆二重の喜びでのスタートです。



私にとって今年は大変重大な年だと考えております。鶴峯八幡神社元旦祭の折り、新役員の一人に入会を勧めた所、前向きに80%確定の返事を頂きました。近々紹介致します。夏までに二人の入会者を目標に、日頃より頑張っております。

次年度が人並みの年になります様、同士の皆様絶大なるご協力お願い致します。

◎早速ですが、例会終了後次年度理事会を行いますので宜しくお願いします。

委員会報告

会報委員会

佐藤信泰 会報委員長

第25回例会会報の日付が1月13日となっておりますが、正しくは1月12日です。お詫びして、訂正します。

ニコニコ BOX

小野恒靖 親睦委員長

白石幸久 1月26日(木)のガバナー公式訪問宜しくお願いします。

渡辺 務 卓話をさせて頂きました。

榎本守男 バンコックより無事帰国しました。

石渡 鋼 榎本さんと同理由、及び大網さん、幹事代行有り難うございました。

永島 強 先週14日倅が結婚して宝竜寺に住む事になりました。家族が増えた事に感謝しております。

刈込碩弥 第25回週報に当館の写真や記事が掲載されているので、会報委員に御礼申し上げます、ご好意に感謝し寸志を。

合計 9,000円

出席報告

佐生一郎 出席委員長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	22	20	2		90.91%
前回	22	19	3		86.36%

近隣クラブ例会日(括弧書き以外 12:30)

月	君津、袖ヶ浦
火	富津(最終例会 18:30)
水	木更津東、富津シティ(最終例会 18:00)
木	上総、木更津

あとがき:

明日は久しぶりのゴルコンペ、早く週報を仕上げて練習に行き、あわよくば優勝を等と考えていたら、朝からの雪。案の定連絡が入り、積雪の為コンペと新年会は中止。残念だが、半分ホットした感もあるのは年のせいかな?

それにしても、週報に対する会員諸兄のご協力には感謝。卓話原稿は本日(土)早朝までに全部到着。ファイルで届いたものはそのまま流し込み、ファックスも読みやすく書いてあるので楽に打ち込めた。

困った事は余白が1ページ半も出来てしまった事だ。以前会報担当者に埋め草がどうか聞いた事があったが、まさか我が身に降りかかるとは。

理解ある人で構成された当クラブでは、早速埋め草作成ボランティアが輩出する事が期待される。

今回は窓から見える雪景色と、去年の塩山 RC 訪問記でお茶を濁す。 (志波)



雪の方が落ちていて仕事ができる

塩山RC訪問記（平成17年2月）

志波 克

何回目かの姉妹クラブ締結条約更改のため塩山に向かう。今日の日の為にハウスの桃花を満開にしてお待ち下さるとのこと。何とも楽しみである。

11時からの開式だが、渋滞を考慮して6時半前に家を出て途中、大網、高橋、平川3氏を拾い、館山道、アクアライン、首都高、中央道と進む。スムーズを絵に描いたようなドライブで、このままでは9時前に到着しそうな気配になり、雪の残る談合坂パーキングエリアで時間調整。

しかしこう言う時は時間がなかなか経たず、トイレやコーヒー位では追いつかない。

見切り発車すると果たして9時少し過ぎに塩山市内。高橋会員が葡萄の丘からの眺めがよい言うので行ってみたら、時期外れのせいか売店は閉まり、景色は雲が厚くかかり何も見えない。しかし雲海を見に来たと思えば、十分な成果であった。

記念写真を撮ってから、昨日来た先行組に電話連絡。塩山駅前の甘草屋敷で合流することに決まり、直行。駐車場に着くと、お客は居ないのに整理案内人が居て案内してくれる。今日は何か特別行事でもあるのかと思ったら、単に時間が早いだけで帰りには満車だった。

甘草屋敷は数年前に来たときに比べ、整備が格段に進み、観光スポットの体が出来上がってきた。桃の節句に合わせた、吊し雛付ひな壇飾りはボランティアの説明者付で出色のイベントであった。

先行組と無事合流し、たつぷりと屋敷を満喫してから会場の塩山会館に向かう。そこで塩山クラブの温かい歓迎ムードの中、例会と契約更改調印式が無事終了。

熊谷会員の特別卓話は、交流行事に参加し、新しい発見、経験のもと人生を豊かにし、思い出を作ることの価値を説いた格調高いものであった。

塩山高校近くの阪本農園に移動して締結更改記念祝宴。ハウスのビニールを通して降り注ぐ陽光と満開の桃花の下、山海の珍味に上質な飲み物、そして良き仲間達に至福の時を過ごす。

完熟トマトや桃の枝など沢山のお土産を頂き、帰路に就く。途中酒蔵経営の風間会員宅で土産を追加、運転手役の高橋会員にワインの贈呈式を行い、

素敵な奥様の淹れるコーヒーを飲みながら祝宴の余韻を楽しむ。

9時頃帰宅して充実した一日が終了。



甘草屋敷雛飾り



調印式



桃花に囲まれた祝宴